



# 富小評価だより

令和4年2月3日 No.3  
富岡市立富岡小学校

令和3年度第2回の学校評価アンケートの実施に際しまして、ご協力ありがとうございました。アンケートの集計ができましたのでお知らせいたします。学校では、成果と課題を明確にし、課題に対しては改善策を考え取り組んでまいります。また、皆様からいただきました貴重なご意見をこれからの学校教育に生かしてまいります。今後ご支援、ご協力をお願いいたします。

## 令和3年度学校評価一覧表

### 【教育目標の達成状況】

観点	評価項目	評価	観点	評価項目	評価	観点	評価項目	評価
みんな仲良く	自分から進んで挨拶や返事ができる	B	元気に運動	健康に気を付けて生活することができる	A	本気で勉強	将来の夢や志をもっている	B
	きまりを守って生活することができる	A		進んで運動し体力を高めることができる	B		基礎的な知識及び技能を習得している	B
	相手の気持ちが分かり、親切にできる	A		安全に気を付けて生活することができる	A		知識・技能を活用し課題を解決できる	B
	みんなで協力することができる	A		粘り強くやり抜くことができる	B		主体的に学習に取り組むことができる	B

### 【本年度の努力点についての評価】

※評価の見方… A：十分に成果があった B：成果があった C：少しの成果があった D：成果がなかった

観点	評価項目	評価	成果と課題	次年度に向けた改善策
確かな学力向上	学力向上委員会の機能化を図り、本校の実態に応じた学力向上対策を組織的に継続する。	A	○学力向上委員会の班別部会を細分化し、より指導や評価に生かせる取組を進めることができた。 ●各班でどんな取組をしているのかが不透明。年度末だけでなく、途中でも各班の進捗状況を職員全体で確認し、学校全体で共有すべき。	・学力向上委員会の班編成を見直し、より指導や評価へ生かせるようにする。 ・年度末に各班の取組を全体会で共有し、次年度へとつなげられるようにする。
	的確な実態把握に基づき、個に応じた指導・支援を充実し、生きて働く「知識・技能」の確実な習得を図る。	B	○教科担任制や学年での教材研究により、授業改善に努めることができた。復習プリントなどで個別支援を進めることができた。 ●教科ごとに個に応じた支援を充実させていく必要がある。	・児童一人一人の実態に応じた指導・支援ができるよう、引き続き補充学習の時間を設定する。
	必然性のある課題設定による体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成する。	A	○授業の導入を工夫することにより、一単位時間における学習を児童が見通しをもって取り組めることにつながられた。 ●単元（題材）全体の見通しをもてるようにすることで、児童がより必要性を感じながら、課題に取り組めるようにしていきたい。	・導入で単元（題材）の課題及び学習計画を児童と共に立てることで、児童が見通しをもって学習活動に取り組めるようにする。
	学ぶ目的を明確にし、自ら考え、互いに高め合う児童主体の授業を通して、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養する。	A	○児童の実態を踏まえて、必然性のある課題を設定し、児童が主体的に取り組む授業を実践することができた。 ●代表授業以外でも積極的に家庭への情報発信をしたり、家庭と協力したりして、児童の考えや行動変容が見取れる授業を設定する。	・今後も積極的に家庭へ情報を発信し、代表授業以外でも家庭と協力し児童の変容が見取れる授業を設定する。
	「わくわくスタディ」「学習の約束」の共通実践により、家庭と連携して、児童の主体性を高め、学習習慣・読書習慣・学習規律の定着を図る。	A	○「学習の約束」を活用した全校共通体制での取組により、学習習慣の指導を徹底することができた。 ●家庭とより連携を取れるように、「わくスタ」の取組を周知し、家庭学習の主体性を高められるようにする。	・「わくスタ」のねらいや学校での取組、児童の取組など、校外への積極的な情報発信を通して家庭との連携を図る。
	小中9年間の学びのつながりを踏まえ、ALTや支援員を活用して生きた英語に触れる機会を充実させた授業を実践し、積極的にコミュニケーションを図る児童を育成する。	A	○感染症対策を考慮しながら、全学年で外国語活動・外国語科の指導を行うことができた。 ●授業以外で英語に触れる機会（イングリッシュカフェ等）を多く取れなかった。	・ALTや外国語活動支援員との打合せを今後も丁寧に行っていき、児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする授業を実施できるようにする。
	タブレット端末等のICT機器を適切に用いて、問題解決的な学習や協働的な学習を充実させ、情報活用能力の向上を図る。	A	○情報部を中心に意見交換や技術共有を行い、全体のスキルアップに寄与できた。 ●タブレット使用に慣れることが中心となってしまう、新たな活用方法を十分校内に発信できなかった。	・最新の情報を校内に発信しながら、今後も教員のスキルアップを図り、児童の情報活用能力が高まるようにする。
	「キャリアパスポート」の計画的な活用を通して、夢や志の実現に向け、個性を生かしながら自己成長を図るキャリア教育を推進する。	B	○七夕で将来の夢や希望について考えることができた。	・キャリア教育は各クラス・各学年とも取り組んでいるが、家庭への周知度が低い。学校評価の文言を見直し、保護者が理解しやすいようにする。
豊かな心の育成	「特別の教科 道徳」を核とした道徳教育の充実により、発達段階に応じた道徳性を養う。	A	○人権月間を中心に、職員向けに道徳通信を発行し、道徳の授業スタンダードの定着に向けて努めることができた。 ●家庭向けに取組を発信することができなかった。	・引き続き学校全体の道徳の授業力向上を図れるよう、職員向けに情報を発信していく。 ・Web ページで、教師の取組や子どもたちの成長の様子が保護者に伝わるように発信を継続する。
	「なかよし月間」「なかよし旬間」を核とした人権教育の充実により、人権感覚を磨き、人権尊重の精神を涵養する。	A	○なかよし月間を設定し、各学年・学級の実態に応じた人権教育を行うことができた。 ●学校全体の取組を設定することができなかった。	・前期になかよし旬間を新たに設定し、より人権教育を充実させていく。
	「言葉を大切に作る学校」として挨拶等の言語環境を整えるとともに、周囲に良い影響を与え合う望ましい人間関係を築き、互いに認め合い、高め合える学級経営を実践する。	A	○子どもたちの模範となるべく、礼儀や共感に関わる態度や言葉使いを意識して生活することができた。 ●HPを有効活用し、各学級の取組を家庭に向けて積極的に発信する必要がある。	・引き続き共感的な児童理解と細やかな指導を継続し、教職員が子どもたちの模範となるように努める。 ・Web ページで、教師の願いや子どもたちの成長の様子が保護者に伝わるように発信を継続する。
	生徒指導の三機能を自覚し、児童のよさを多角的・多面的に捉え、常に「積極的な生徒指導」を実践する。	A	○児童が活躍できる場を設定し、主体性をもって諸活動に取り組ませることができた。 ○学年会や生活支援委員会等で、児童の成長や良さを複数の職員で共有し、積極的な生徒指導を実践することができた。	・引き続き積極的な生徒指導を実践したり、児童が活躍できる場を設定したりすることで、児童の自己肯定感や自己有用感を高めていく。
	生活支援委員会を定期的に開催し、保護者との相互理解の下、いじめや不応・問題行動等の早期発見・早期解決を図る。	B	○生活アンケートや児童の訴え・様子から問題を早期に発見し解決ができた。 ●保護者と認識の差が生じないよう、迅速かつ丁寧に家庭と連絡を取る必要がある。	・日常の観察をより深め、問題の未然防止に努める。 ・引き続き電話、連絡帳等で保護者との連携を深める。
	SCや心の教室相談員との連携を深め、児童や保護者が安心して相談できる教育相談体制を整える。	A	○SCや心の相談員と連携する中で、教職員のカウンセリングマインドが高まった。 ●SOSの出し方教育についての情報提供をすることができたが、援助を求める態度については、意識的・継続的に指導・支援を行う必要がある。	・教員のカウンセリングマインドをより向上させるための研修を行う。 ・援助を求めやすい環境作りをするためのロールプレイングの実施や、心のよりどころとなる場所の一層の情報提供を行う。
健やかな体づくり	体育的活動の充実により運動習慣の定着と運動の質的・量的確保を推進する。	B	○持久走練習や三種チャレンジなど、児童の運動習慣につながる活動を行うことができた。	・引き続き体育部で情報交換を行い、系統を意識した授業づくりを行えるようにする。また、家庭での児童の運動習慣につながる活動が行えるよう検討し実

くり			○1学期に引き続き、教材や指導方法、場の設定について情報交換を行うことができた。 ●家庭での運動習慣の定着につながる活動があまりできていなかった。	施する。 ・学年通信や Web ページを活用し、体育的活動の様子を家庭へ計画的に発信する。
	感染予防を核とする健康教育や食育の充実により、基本的な生活習慣や望ましい食習慣の定着を図る。	A	○『学校の新しい生活様式』に則り、学校全体で感染防止対策ができた。 ○年3回の生活ふり返りの取組ができた。 ●生活ふり返りの取組を継続して行い、行動変容につなげていく。	・新興感染症を含め、引き続き学校における感染防止対策を講じていく。 ・感染症における感受性対策（抵抗力の増進）として、望ましい生活習慣の更なる定着を図っていく。
	安全教育の充実により、自他の生命や健康を守る危険予測・危機回避能力を育成する。	B	○交通安全団活動（交通安全運動期間の呼びかけ）や各学級での日頃からの積極的な指導により、大きな事故なく過ごすことができた。 ●避難訓練の縮小や保護者への児童引き渡し訓練の見送りになったことによる安全教育の機会の減少。	・児童の防災意識を高めるために、学年・学級単位での予告なしでの避難訓練など、より実践的な訓練を実施していく。
組織的 で活 る学 校づ くり	本校の教育課題や地域の実態に応じた特色ある教育課程をマネジメントする。	A	○各方策について月ごとに振り返り、軌道修正をしつつ実施することができた。 ●持続可能な教育課程の実現に向けて、長期的な視点で教育課程をマネジメントしていく意識が弱かった。	・令和4年度の教育課程の編成に向けて、今後も継続すること、廃止すること、新たに加えることを明確にしていく。
	「人事評価制度」や「教員育成指標」の適切な運用により学校経営参画意識を高め、職員一人一人が自分の役割を自覚するとともに、組織的に学校運営に取り組む。	A	○人事評価の目標と関連した一人1授業の実践を通して、各教員の授業力向上を図ることができた。 ○授業後に校長から面談指導、教頭から授業評価を受けることを通して、各自が取組の成果や課題を確認することができた。 ○運営委員会、生活支援委員会、学年会等による協議・伝達がしっかりと行われ、職員の共通理解の下、学校運営に組織的に取り組むことができた。	・メンター研修等の資質向上研修と関連させ、教職員相互の情報交換を充実させる。 ・管理職による授業参観と指導、助言をより充実させる。 ・各主任を中心に、全職員が学校運営に参画している現在の状態を、学校運営のスタンダードとして維持・継続する。
	「規律確保行動計画」に則り、服務規律を遵守し、常に教育公務員としての使命感と責任感をもって職務を遂行する。	A	○県内外で発生した非違行為を職員に知らせ、本校で発生したと仮定して当事者意識をもって考えることができた。 ○県教育委員会版「服務規律の確保チェックリスト」の結果を踏まえ、「服務ガイドライン」を活用した研修を行い、知識と意識を高め、服務規律の確保に努めることができた。	・今後も、県内外で発生した非違行為を職員に知らせ、本校で発生したと仮定して当事者意識をもって考えられるようにする。
	校内研修を核として職員研修の充実を図り、教職員の指導力の向上を図るとともに、互いに高め合う同僚性あふれる職員集団づくりを推進する。	A	○模擬授業、研究授業の中で、問題解決的な学習に向け、対話を生かした授業実践について研修を深めることができた。 ●学年ごとの取組が多かったため、それぞれの取組内容についての情報共有及びつながりがうまくいかなかった。	・令和4年度の関プロ家庭科大会に向けて取り組むべきことを明確にし、全教職員が自分事として意識して研究を推進できるようにする。 ・題材（単元）の課題や、学習計画の立て方について研修を深め指導できるようにする。
	特別支援コーディネーターを核として、児童一人一人のニーズに応じた支援を充実する。	A	○個別の支援計画ファイルを見やすいファイルや保管場所に変更できた。また、様式も次年度に活用しやすいように変更した。 ●担任によって入力内容に差がある。	・定期的に担任に呼びかけ、入力を依頼する。 ・特別支援教育についての研修を行い、その時間内で入力をする時間を設ける。
	言語指導教室における指導の充実により、通級児童の実態に応じた課題解決を図る。	A	○後期になる前（9月・2学期始業後）に、聞き合いを行い、後期の指導に向けて、共通理解や指導方針の見直しなどを行うことができた。 ●各担当ごとに教材の工夫や開発を行っていたが、意見交換をしたり、教材の共有をしたりすることがなかったため、声をかけあったり、ケース会議を活用したりして、指導の向上を目指したい。	・ケース会議や教室研修の時間を活用して、指導の様子や課題などを話し合い、互いに指導方法を共有することができるようにする。
	令和4年度の家庭科関プロ大会に向けて、実践的研究の深化と円滑な大会運営準備を推進する。	A	○ブロックごとにプレ授業、授業実践、検討会を行うことで、発表に向け授業研究を進めることができた。 ●発表で必要な資料の作成が十分に進んでいない。	・検討会を受けて、発表に向けた授業の改善、指導案の作成を行う。 ・発表に必要な資料を確認し、作成を進める。
	地域に 根ざし 信頼 され る学 校づ くり	東中学校及びこども園等との連携による系統性・一貫性・連続性のある指導を行う。	B	○コロナ禍においても、幼保こ小連携推進会議や5年生の総合学習を工夫して行い、こども園等との交流を深め、情報共有を図ったり、入学児童と5年生との関係性を作ったりすることができた。 ○特別支援学級では「富小・東中特別支援学級交流会」を実施し、連携を深めた。 ●小中連携推進事業はコロナ感染拡大予防のため、ほとんど実施できなかった。
Web ページや各種通信等を活用し、本校の取組を家庭・地域へ積極的に配信する。	A	○コロナ禍で学校公開が制限される中でも、保護者専用ページを活用することで、学年通信の代わりとなるよう、児童の日常の様子を詳細に伝えることができた。 ●保護者がパスワードの存在を知らなかったり、保護者専用ページの周知徹底が十分ではなかったりした。	・「学年便り」「学習の予定」等の紙媒体を用いて、web ページの存在やパスワードの存在を定期的に周知していく必要がある。	
学校評価や学校評議員制度を活用し、保護者や地域からの情報を収集・分析することで、学校課題を把握し改善を図る。	A	○学校評価の結果や学校評議員からのご意見により、課題を明確にし全職員で改善に向けた取組を行うことができた。	・学校課題や改善に向けた取組を、児童、家庭、地域にさらに積極的に周知し、より一層改善していけるようにする。	
学校家庭地域連携推進会議の実施により、学校課題について熟議し、協働できるようにする。	—	○感染状況の変化に対応しながら、学校、地域、家庭とで連携することができた。 ●学校家庭地域連携推進会議は、感染症拡大防止の観点から、密にならない集まり方での開催に向け努めたが、「まん延防止等重点措置」が取られたため開催できなかった。	・引き続き感染症拡大防止に努めながら、できることを講じていく。 ・学校家庭地域連携推進会議は、地域の方の声を直接聞くことができる貴重な場であるので、規模を縮小したり形態を見直したりする等、開催に向け検討する。	
スクールサポートボランティア「とみさぼ」の充実を図り、年間指導計画を踏まえて、外部人材を積極的に活用する。	A	○見通しをもって計画的にボランティアを募集することができた。 ●持続可能な「とみさぼ」の実現に向けて、保護者以外の多様な人材を発掘することができなかった。	・一日入学、卒業式などの場でコーディネーターが直接、保護者に「とみさぼ」への参加について周知する機会を設定する。	
健康で 安全・ 安心 な学 校づ くり	感染防止マニュアルや学校安全管理マニュアルの共通理解により、危機管理を徹底する。	A	○食物アレルギー児童への対応や新型コロナウイルス感染症の対応について、職員間での共通理解の徹底に努めた。 ○学校安全管理マニュアルの共通理解により危機管理意識を高めることができた。	・次年度も取組を継続していく。また、食物アレルギーの児童も増加しているため、今年度はできなかったアナフィラキシーへの対応講習会等も行っていく。
	学校施設設備や通学路の安全点検を徹底し、迅速に問題点を改善する。	B	○毎月校舎内外の施設設備の点検を行い、危険箇所等を確認することができた。 ○保護者・地域からの情報・要望をもとに通学路の危険箇所について確認を行った。 ●通学路の危険箇所の改修等は所有者の負担を伴うため、すぐには対応はできないので、行政との情報共有にとどまった。	・通学路危険箇所の点検結果を基にして、安全マップを見直し改定する。
	適切で効果的な予算執行により、教育環境の最適化を推進する。	A	○課題箇所の早期発見、迅速な現場確認を行い、配当予算で対応できる案件については、早期に改善できた。 ●暖房機のメンテナンス、修繕を進めたが、一部老朽化のため交換が困難である。 ●高額、中規模以上の修繕は関係機関と連携し改善途上である。	・授業や休み時間の児童の活動を把握し、保護者や地域の声も生かしながら、継続して危険箇所を改善して、安全・安心な学校づくりを進める。
働き方 向上	働き方改革を着実に進め、さらなる校務の効率化・マニュアル化を図り、持続可能なシステムづくりを継続する。	A	○C4 t hの活用促進による情報の迅速な共有化、効率化が進められた。 ●校内の課題に対して、職員間の迅速な情報共有、十分な共通理解、校外諸機関や地域との連携を更に密にしていきたい。	・市費職員、校外諸機関や地域との情報共有、連携を円滑化し、加重負担解消、明るい学校づくりをすすめ、総量規制（改善）の視点も大切にしていきたい。
	勤務時間の適正な管理により、職員のワークライフ balan		○在校時間管理表を踏まえ超過勤務解消や定時退庁への意識が定着しつつある。通知	・学年会計では事務職員が学期末処理を効率的に行えるよう、振込システムの

ス（ベスト・エデュケーション/ベスト・コンディション）やメンタルヘルスの保持に努める。	B 表作成は、スタンダードを活用し1学期よりも効率的に取り組んでいる。 ●運動会と修学旅行が続いた時期（10月）や学期末は、退庁時間が19時を過ぎる日が多かった。 ●事務職員など過配がない一人職の業務改善が進まなかった。	改善を図る。 ・退庁時間の推移を職員に明確に伝え、ゴールを意識した業務遂行への意識を高めていく。
---	--	---

【ご意見・ご要望に対する回答】

分類	ご意見・ご要望	回答
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に比べて下校時等に路上で挨拶してくれる児童が増えたように感じます。</li> <li>・近所の顔見知りのお子さんたちは気持ちのよい挨拶や返事ができていて、とても嬉しく思っております。</li> <li>・こちらから声かけすると、少し恥ずかしそうに返してくれます。</li> <li>・挨拶は、こちらから先にするようにしています。</li> <li>・旗振りを10年していますが、挨拶の出来る子が年々減っていると感じています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご評価に感謝申し上げます。児童にも地域の方からの励ましを伝えます。</li> <li>○富小児童への温かなお声がけありがとうございます。大人を見習い、きちんと挨拶を返せるよう今後も指導してまいります。</li> <li>○永年に渡る朝の交通指導に心より感謝申し上げます。挨拶の大切さを引き続き集会や学級で指導してまいります。率先垂範として、朝、児童玄関でこちらから挨拶しています。2学期間をかねて大半の児童が挨拶を返すようになりました。継続の力を実感しています。</li> </ul>
交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全点検、子どもを通し親子で話し合うことも必要と思います。</li> <li>・交通指導員の立場から、数人の子供が横断歩道を渡るとき、下を向きゆっくり歩いているのが気になります。前方をよく見て渡るよう先生方からお話してください。</li> <li>・通学する児童の安全を守るためには、地域の意見や協力は必要です。各地区の意見を集約し随時反映させて行政に改善を求めることも必要。</li> <li>・私の家から富小までに向かう通学路に危険（倒れそうな）ブロックがあります。行政と協力しての改善をお願いします。</li> <li>・国道254号沿いの広い歩道があるところは、子どもたちも学校生活に慣れてくる時期になると、ふざけて走り回ったり追いかけてっこをしている光景を見ることがあります。</li> <li>・交通ルールはおおむね良く守っているようです。下校時等、大きな声で友達に呼びかけている子どもがまれにおり、交通安全やルールの点から多少不安です。</li> <li>・通学路について、一学期に地区委員を通じて意見を出しましたが、回答も改善もみられなく残念に思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登下校の安全に関する具体的なご意見、ありがとうございます。</li> <li>・通学路の親子での安全確認は、一日入学など折に触れて呼び掛けを続けてまいります。</li> <li>・歩行中の前後左右の安全確認の大切さ、危険を伴う行動に関しては、再度全校で指導してまいります。</li> <li>・具体的な危険箇所については、学校から地域づくり協議会等へも情報を寄せ、共通理解を進めてまいります。</li> <li>・下校時の行動については、具体的に学級で指導いたします。</li> </ul>
安全（防犯・施設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも誰もが学校敷地内に入れるので防犯の面が心配です。せめて玄関や体育館出入口に防犯カメラを設置していただきたいと思えます。</li> <li>・校庭のどろくつ山の道路側にもフェンスがあると、ブロック塀からの歩道への落下を防げるので、安全だと思えます。</li> <li>・校庭にある、照明灯（ナイター塔）を増やして欲しいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玄関（3箇所）はカメラ設置済みです。体育館出入口は、まず設置の可否を確認いたします。</li> <li>○学校施設の安全性についてきめ細かく目を向けていただき、心強いかぎりです。フェンス設置は教育委員会に要望してまいります。まずは転落事故防止として、塀に上らないことを児童に指導します。</li> <li>○照明灯は社会体育設備のため、増設のご要望は、管轄する市のスポーツ課にご相談をお願いします。</li> </ul>
いじめ防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつの時代もですが、いじめがない、子供たちが学校を楽しく思う場であることが第一だと思います。</li> <li>・作品に画鋸が刺さっているという件に関しては心が痛みます。学年が上がるほど陰湿なことが起きるのかもしれませんが、ただ、許されることではなく今回をきっかけにもう一度子どもたちにも考えてほしいと思っています。やってしまった子は軽い気持ちだったのかもしれないけど、やられた子の気持ちをしっかりと考えてほしいと思います。自分がされたら嫌なことは相手にはしないということを家庭でも伝えていきたいと思えます。今回の件がエスカレートせず解決し子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう願っています。学年の先生が子どもたちに早急に伝え対応してくださりありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校のあるべき姿として同感です。いじめ防止と人権教育の充実に今後も努めてまいります。</li> <li>○児童の作品を損なう事案につきましては、たいへんご心配をお掛けいたしました。何よりも当該の子ども自身が心を痛めたことを深く受け止め、私たちの日頃の指導をしっかりと振り返りたいと考えています。事案については、当該学年だけでなく学校全体でも速やかに共有し、「いじめ」の未然防止の徹底に取り組んでおります。書初め展など3学期も作品を掲示する様々な機会があります。作品鑑賞を通して互いの努力を認め合えるよう、学校全体で「豊かな心」を育む指導を進めてまいります。</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくスタディは良い試みだとは思いますが、今のままですと学習する子としない子の格差が開くばかり。様々な学習ができるように、複数のプリントなどを準備して子ども達が選択して学習する。学習の振り返り方法について具体的に示す。その子にあった学習を提案する。そういったことを日に数人だけにでもして頂けると学習意欲が高まったり、理解度が増すのではないかと考えます。</li> <li>・先日の授業参観で、クラスの乱れが気になりました。また、担任の板書の際の漢字の書き順間違いが気になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習習慣への具体的なご提案、ありがとうございます。個に応じた学習の振り返りの支援については、学力向上の校内委員会で検討してまいります。主体性を育む観点から、自主学習用に必要な学習教材は、お子さんと相談されご家庭で選択されることを推奨します。「わくスタ」は他者との競争ではなく、子どもの個性や関心を伸ばし広げることが目的であることを、ご理解ください。</li> <li>○学級の様子をきめ細かくご参観いただき、感謝申し上げます。児童が学習に集中できる学級づくりや基本的な指導事項について、再度確認してまいります。</li> <li>○体育館での学習発表のご参観、ありがとうございました。多くの方の前での発表は、児童の表現力を向上させる貴重な場となりました。今後も、聞き手を意識した分かりやすい発表の工夫（内容・手段）を指導・支援してまいります。</li> </ul>
ICT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用が求められています。授業の中であまり活用がないような話を子どもから聞きます。確かに小学2年ではできることが限られてしまうとは思いますが、今後のことを考えると早い段階からタイピング練習やICT活用に積極的になっていただきたいと思えます。たくさん課題があるとは思いますが、経験しなければ分からないこともあると思えますので、御一考くださるようよろしくお願い申し上げます。</li> <li>・ICT教育が始まり自宅でもインターネットを使用して調べ学習をしようと、パソコンを使用するようになりました。インターネット使用の約束を決めましたが守れないのが実情です。使用時間は閲覧記録からは夜中も使用しているのが伺えます。管理が甘い事もあるのですが、学校でも再度インターネットの利用時の使用の在り方を教えていただければありがたいです。友達から情報を得るか、ゲーム実況やアニメキャラをいじってみたりと、親からみると…とってしまう動画もあります。授業中寝ていたと支障も出はじめています。検討をよろしく申し上げます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT活用へのご指摘とご意見、ありがとうございます。進級後の学年での活用が円滑に進むよう、3学期は、音声や手書きでの入力など発達段階に応じたスキル向上を図ってまいります。応用的なスキルへの慣れ親しみは、端末を家庭に持ち帰った際に、お子さんと一緒に取り組んでいただくことをお願いいたします。</li> <li>○ネット利用の家庭内ルールづくりへの積極的な取組、ありがとうございます。自己管理の難じさは、子どもも大人も共通の課題。親子で日々の利用時間を居間のカレンダーに記入して見える化するなど、家族全体で適切な使用方法を考え、定期的に点検してはいかがでしょうか。学校でも学級活動の時間に、ICTが健康に及ぼす問題について自己を顧みる指導を行ってまいります。</li> </ul>
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会や授業参観などを、感染対策を考えて実施してくれた先生方には感謝しています。まだまだコロナ禍で大変だと思えますが、よろしく申し上げます。</li> <li>・今年度は授業参観など、コロナ禍でありながらも感染対策をしながら、様々な行事の開催ありがとうございました。授業参観では、タブレットを使った授業など普段の様子を見られて良かったです。</li> <li>・コロナが落ち着いている間に、運動会や授業参観等を実施して下さりありがとうございます。去年は学校での子どもの姿を見るのが一度もなく終わってしまい残念でしたが今年は少しでも見ることができ本当に良かったです。</li> <li>・2学期は様々な行事が無事に行え、子供がとても楽しく充実した学校生活を送っていると感じました。また、体育発表会や授業参観では、子供達の学校での様子を2年振りに見ることができ、学年全体がすごく成長していると感じました。人数の多い学校なので感染症対策は大変かと思いますが、保護者が学校で子供達を見る機会がなくなるよう、家庭も協力していきたいと思えます。</li> <li>・運動会で5・6年生が主体に動いていてとても頼もしく、自分の役割をきちんとこなそうと頑張る姿が印象的でした。延期で旅行の準備も重なり忙しい中、いい運動会を見させていただきありがとうございます。</li> <li>・子供達が好きな運動などの発表の機会がどんどん減っていて残念です。</li> <li>・マラソン大会は校内でも行えると思うのですが、親としても、走ってる姿を見るのが楽しみでしたので、もう一度行う方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温かい激励に、教職員を代表して御礼申し上げます。経験を生かし、開かれた学校づくりを目指してまいります。</li> <li>○感染状況の推移を見定めつつ、可能な範囲で子どもたちの学びの姿をご覧いただく機会の確保を工夫してまいります。時間調整や手段の制限でご不便をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。</li> <li>○富小児童の活躍や教職員の創意工夫をご評価いただき、たいへん心強く感じております。家庭・地域と学校とが一体となれるよう、学校評価の意見も生かしつつ、より良い富岡小学校を目指してまいります。感染症予防の徹底に向けて、共に粘り強く取り組んでまいりましょう。</li> <li>○体育的行事の見直しは、感染予防や事故防止、指導内容の改訂、教職員の働き方向上に伴う対応としてご理解をお願いいたします。他方で、子どもたちの成長や活躍を伝える場を充実させていくことも、工夫・改善してまいります。</li> <li>○スポーツに対する児童の意欲向上へのご意見、ありがとうございます。道路使用の危険性、学習指導</li> </ul>



	<p>向で考えていただけないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持久走大会が無くなってしまい残念。頑張った成果を披露する場は大切だと思います。道路が危険なら校庭で開催すればいいと思います。</li> <li>・コロナが落ち着いたら、学校公開日を再開してほしい。</li> </ul>	<p>要領の改訂、学校行事の精選を総合的に鑑み、大会実施の終了を判断いたしました。今年度、各学年では授業の中でタイム記録会を実施しました。感染状況に改善が見られれば、体育学習発表会として参観していただくことを検討してまいります。</p> <p>○感染予防の対応にご理解をいただき感謝申し上げます。感染状況の推移を見極めながら公開日の設定を検討してまいります。</p>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの投稿を毎回楽しみにしています。よろしくお願いします。</li> <li>・毎月の学校通信ありがとうございます。よく読ませていただいています。</li> <li>・Web Site が充実していると思います。</li> <li>・県内で発生した下校途中の事件に関し、早急に児童指導、地域への情報発信を頂き良かったと思います。安心・安全で教育が受けられますよう、ご指導をよろしくお願いします。</li> <li>・ホームページにたくさん写真を載せてほしいです。</li> </ul>	<p>○ご愛用に感謝申し上げます。回数や投稿画像数には限りがありますが、子どもたちの活躍や特色ある教育活動を端的にお伝えできるよう、今後もページ作りを工夫してまいります。</p> <p>○Web ページは4月以降の来訪者が119万件を超えました。ご利用ありがとうございます。</p> <p>○緊急メールも活用し、防犯に関する迅速な情報提供に今後も努めます。</p>
体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に持久走の練習をさせたりするのはやりすぎでは…と思うのですが。子供たちの遊ぶ時間を奪ってまでさせなくても…と感じます。</li> <li>・児童の体力増強のために、通学バスは廃止を考慮してみてはいかがでしょうか。</li> </ul>	<p>○国が実施している新体力テストの結果では、本校は女子の体力に課題が見られました。本校では、運動量を確保し体力向上を図る取組の一貫として持久走や長縄跳びを位置付けています。休み時間（20分休み）の練習は、学年ごとに曜日指定し分散実施とすることで、外遊びとのバランスも考慮しています。多様な活動を通して児童の体力向上を目指してまいります。</p> <p>○安全確保の観点から継続の必要性は高いと考えております。体力向上では、体育や外遊びの充実、家庭への協力依頼に努めます。</p>
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり協議会と情報を共有し、課題を解決できるようにしていただきたい。</li> </ul>	<p>○地域とのパイプである公民会や協議会との日常的な情報共有の重要性を強く感じております。今後も、ご相談やご助言へのご協力をお願いいたします。</p>
学校評価アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1の「自分から進んで」は、小学生であるなら「明るく元気良く」が適切と思われる。対象が小学生なら、その方が気持ち良く思われる。6は、大変とは思いますが、四季ごとのKYTも含んでほしい。また、安全点検が「どんな基準を満たしたので安全なのか」を示してほしい。迅速に改善できず、長期化しそうな案件があれば知りたい。色々書いたが、個人的には良い学校運営だと思う。</li> <li>・学校評価アンケート等、改善努力を感じます。Web での回答は自分自身が不得意なため、協力できないですみません。マークは塗りつぶしでなく、レ点でもいいのですか？</li> <li>・読みづらい文章の提示で途中から読むことを諦めました。</li> </ul>	<p>○アンケートの設問改善へのご意見、ありがとうございます。次年度第1回の評価への反映を検討いたします。</p> <p>○安全点検に関する情報公開については、担当と相談いたします。</p> <p>○学校評価へのご協力、ありがとうございます。回答は可能な方法で構いません。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における学校運営は、日々様々な問題に向き合い、ご苦労されている事と存じます。願望と推察も混在しておりますが全て『4』にチェックさせて頂きました。富小の伝統を校長先生のもと紡いでいって頂ける事を期待しております。</li> <li>・「子どもは風の子元気な子」を培う。日々の生活習慣が実を結ぶ指導を一緒にしましょう。</li> <li>・コロナ禍のため、児童や職員の様子がよく見えない中での評価です。そのような中での学校経営・運営、大変ご苦労さまです。児童はもちろん、職員の心身の健康に留意してお過ごしください。</li> <li>・今回のアンケート、コロナ感染により、なかなか学校関係者、児童たちと触れ合うことがなく、評価に値するものがなかったと思います。来年度こそ、笑顔で学校生活を過ごすことができると信じています。</li> <li>・普段から子どもとの接点はあまりありません。加えてコロナ禍で学校を訪れる機会も少なく、回答は難しいです。学校に願うことは、一人一人の子どもを大切にされた教育です。子どもはそれぞれの家庭の環境、事情を背負っていますが、せめて学校では皆同じであってほしいと、先生方のご苦労は十分承知の上での希望です。</li> <li>・クラスでハロウィンやクリスマスのイベントを開催していただき楽しいと喜んでいますが、教室の飾りつけを子供に買って来させるのはどうかと思います。飾りつけの係りになるとお金をかさねなければならない、ということでしょうか。</li> <li>・新任なので仕方ないのですが、もう少し、一人一人を、見て欲しい。</li> <li>・文部科学省より推奨されている置き勉強について、富小でも対応していただけたらと思います。</li> <li>・授業参観日の「お弁当の日」ですが、登校前に子どもがお弁当作りにかかるであろう時間を逆算し、どてつもない早起きをして作業するので子どもも親もバタバタして毎年大変だと感じています。お弁当を自分で作るということは子どもにとって良い経験ですので、せめて別日にトライカードのような形でお弁当の日として行うなどして授業参観日は親がお弁当を用意する形になってほしいです。せっかくのお弁当作りならば、ゆとりを持って見守りやアドバイスをしたいです。</li> <li>・いつも先生方にはご尽力頂き、心より感謝致しております。学校での様子を見られる機会が少ないので、判断できない項目は無回答にしています。運動会の発表会形式や先日の授業参観など、工夫や検討を頂きながら保護者が見られる機会を作ってもらって嬉しです。言葉の心配もあり、言語の先生とは面談があるものの、クラスの集団に入った中でどんな様子なのか、本人からの話ではなかなかわからず気になります。</li> <li>・いつも先生方には最大限のご尽力を頂き感謝でいっぱいです。今年度はコロナ禍の中でも保護者が見られる機会を作ってもらえて有難いです。ホームページに載っているものなど、学校での子供の様子を写した写真が購入出来たりすると嬉しいのですが、先生方にあまり負担がかからない方式で何らかご検討は難しいでしょうか。</li> <li>・担任の先生には毎日細かい所まで見ていただき助かります。勉強ついていけるかな、友達出来るかな、学校生活慣れるかなと心配しましたが、いい学校いいクラスいい先生で安心していきます。これからもよろしくお願い致します。</li> <li>・毎日担任の先生には気にかけていただきありがとうございます。やっとな学校生活に慣れお友達の話聞く事が出来る様になりました。宿題も自主的にしたりすごく成長しました。勉強はついていけるか心配しましたが先生の教え方が素晴らしく親として感心しています。これからも手がかかる二人ですがよろしくお願い致します。</li> <li>・今まで心が乱れると感じることが多々ありましたが、3年生になりそれがぐっと減りました。担任の先生のお力が大きいと思います。約束や決まりごとを守るのは当たり前のことなのに、融通の利いた対応に感謝しています。</li> <li>・いつもきめ細やかなご配慮ご指導をいただき、大変感謝しております。担任の先生がとても信頼でき、毎日安心して送り出せていることを本当にありがたく思っています。このことは何よりありがたいことです。項目の23、24については、当然のことながら担任の先生によって多少対応の違いがあるかと思いますが。児童・生徒の悲しいニュースを見るにつけ、先生方には既にご尽力頂いているところですが、子ども達がどの学年になっても、富小の先生方を信頼し安心して学校生活を送れるよう、今後ともご配慮いただけたらと願っております。</li> <li>・コロナの影響で保護者が子どもたちの学校生活を直接目にする機会が少ないため、学校での学習の様子がわからない不安があります。毎朝楽しそうに登校する姿を見ると、制限がある中でも先生方のご尽力いただいているのだろうと想像できます。ありがとうございます。</li> </ul>	<p>○児童数の減少、コロナ禍による学校や地域の諸行事の縮減により、富小の子どもたちと接する機会が限られております。機会の多少にかかわらず、地域の方々に本校の現在の姿がどのように映っているのか、ご意見をいただくことは、学校のあり方を見つめ直す貴重な機会です。</p> <p>○回答はご対応いただけるもので結構ですし、自由にご意見をお寄せいただくことも、大歓迎です。</p> <p>○今後も、地域から信頼される富小、地域から愛される富小を創り上げていくことに、ご協力をお願いいたします。</p> <p>○お子さんと学校生活の様子を共有していただき、ありがとうございます。身近にあるものを活用し、手作りの季節行事を楽しめるよう工夫してまいります。</p> <p>○忌憚のないご意見に感謝申し上げます。教職を目指した者が、子どもの姿や心と向き合える教員として更に成長できるよう、校長として指導・助言に努めてまいります。</p> <p>○平成30年の文科省通達を踏まえ、本校でも携行品の持参方法について工夫してまいりました。タブレット端末の持ち帰り開始を機に、教科書や学用品の携行について学年単位で見直してまいります。</p> <p>○「お弁当の日」へのご協力に感謝申し上げます。子どもの食と健康に保護者の方が日々エネルギーを注いでいることを実感する体験は、自立した大人へと成長する上で重要な教育（食育）です。お弁当は限られた時間で準備できる内容や品数で十分です。調理の段取りや作り置きを活用など、家族の方からお子さんに、ぜひ手ほどきをお願いいたします。</p> <p>○回答は答えられる範囲で構いません。お子さんの学校生活についてのご質問は、遠慮なく担任までお尋ねください。</p> <p>○画像の有償頒布については、営利を伴う教育活動外の行為であること、個人情報保護の配慮を要することを踏まえ、学校として実施は考えておりません。</p> <p>○学級担任をはじめ本校教職員の取組への励ましのお言葉、ありがとうございます。保護者の皆様との信頼関係は、教職員にとって、日々の教育活動を進めていく大きな力です。担任はもとより、教科指導担当、事務長、栄養教諭、市費の職員、ALT、そして管理職と50名を超えるスタッフの総力で、これからも富岡小の子どもたち成長を支えてまいります。</p>

